

# 香港乗り物三昧！

監修：香港政府観光局



## 初級編

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリア
<p>タクシー(的士/テッキシー) Taxi</p>  <p>フロントに定員のプレート、旧セダンは5名、新型は4名まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトな香港ではあるが、区間移動にタクシー利用は安くて便利。ホテルや大きなショッピングモールには、乗降場があり使い勝手が良い</li> <li>営業地域ごとにタクシーが色分けされているが、赤色はほとんどの地域をカバーしている(アーバン:赤、新界:水色、ランタオ島:緑)</li> <li>営業区域が決まっているため、例えば香港島所属のタクシーが九龍側で営業は出来ない(特例:自分の営業区に戻る理由で、区外から客を乗せることは可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初乗り2kmまで:アーバン HK\$27(新界HK\$23.5、ランタオ HK\$22) 支払いはメーターの料金を切上げて払う(例:HK\$28.9→HK\$29)</li> <li>3辺が140cm以上の荷物は有料でトランクに預ける(1個につきHK\$6、車いすは無料)</li> <li>呼出し料金HK\$5</li> <li>トンネル代、空港線大橋利用料金は別途かかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>扉は手動(乗降はご自身で)</li> <li>道路に二重の黄色い線がある所は駐停車禁止なので、いくら手を挙げても停まらない</li> <li>レシートは印字発行でもらえる。</li> <li>営業区域外の車(過海的士)は、メーターに“Out of Service”の札がかかっている</li> <li>海底トンネルで反対側にわたる場合は、手でトンネルをくぐるジェスチャーをすれば利用可能</li> </ul>
<p>地下鉄(港鐵/ゴンティツ) Mass Transit Railway(MTR)</p>  <p>香港鉄道の歴史は1910年から</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦横無尽に主要なスポットにつながる地下鉄は、ツーリスト1日パスをフルに活用すればお得</li> <li>1979年10月開業、2007年12月に旧九廣鉄道(1910年10月開業)と合併し、路線は空港線などを合せて全部で11路線</li> <li>ライトレール(軽鉄)もMTRの管理下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に距離制でHK\$3.5~</li> <li>空港線 九龍までHK\$105 香港島までHK\$115</li> <li>オクトパスカード利用で多少割引あり。(子供、シニア割あり)</li> <li>ツーリスト1日パス(大人HK\$65)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発駅の券売機で地図上の目的駅を押し、大人・子供(シニア)を選択し、人数を入れて金額が出たらお金を入れる</li> <li>座席はステンレス製</li> <li>改札は非接触式(乗車券・オクトパスカードとも)</li> <li>MTR 東線最北終点駅の羅湖から徒歩で深圳に入境可能</li> </ul>

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！

監修:香港政府観光局


名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリビア
<p>スターフェリー(天星小輪/ティンシンシュウロン) Star Ferry</p>  <p>1880年、インド商人・シェフが焼いたパンを渡し舟で対岸に運んだのが始まり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九龍半島と香港島を結び、通勤の足のみならず、観光客にも楽しんでいる</li> <li>・1898年よりスターフェリー社が運行権を獲得して以来の運航、尖沙咀からセントラル、ワンチャイの2地点を結んでいる</li> <li>・9隻の船名には“星”が付いている</li> <li>・尖沙咀からの各ポートの運行時間 午前6時半～午後11時半(中環) 午前7時半から午後11時(灣仔)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尖沙咀-中環・灣仔上層 HK\$3.2、週末はHK\$4.2</li> <li>・子供料金は身長95cmから徴収される</li> <li>・乗船前に販売機でトークン(コイン)を買い、専用改札に入れる</li> <li>・船の下層階は料金が少し安いが見えが望めない(灣仔ラインは下層階は無し、その代わり10台まで自転車がつめる。料金は1台につきHK\$16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世星、輝星、午星、傳統渡輪(World Star, Shining Star, Meridian Star, (Classic Ferries))はチャーター可能で、収容人数は船によるが、110名～280名</li> <li>・暁星(Morning Star)は、2020年7月ディーゼルと電気のハイブリッドエンジンに変更され、低排出グリーンフェリーとなった</li> </ul>
<p>トラム(香港電車/ヒョンゴンディンチェー) Tram</p>  <p>2階の一部が開いているクラシック車両は定期ツアーに使用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香港島の東西を結び、世界でも類を見ない2階建て路面電車</li> <li>・1904年から運行、早朝5時から深夜まで</li> <li>・6つのルートで全長を合わせると30km</li> <li>・停留所名のアナウンスが無いので、車窓からおりる場所を確認 <u>停留所名・マップ</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひと停留所で降りても、始発から終点まででも、区間に関係なく均一料金 &lt;大人HK\$3 子供(3-12歳)HK\$2、(3歳以下は無料)、65歳以上はK\$1.3)</li> <li>・車両の後ろから乗車、降車時に前方運転席横にある料金箱にお釣りのないよう支払う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部車両のみエアコンあり</li> <li>・164車両あるうち、「トラム120号」は特別車両、1949年に退役したものを修理している“オリジナル”のものと、レプリカ版の2台しか運行されていないので、見つけられたらラッキー</li> </ul>

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！

監修:香港政府観光局

## 中・上級編

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリア
バス(巴士/バーシ) Bus  香港上級者の入口として、路線バスの旅を楽しむのも一考	<ul style="list-style-type: none"> <li>香港庶民の足となっているバスは、<u>城巴(City Bus)</u>、<u>新世界第一巴士服務(新巴/NWFB)</u>、<u>九龍巴士(九巴/KWB)</u>、<u>新大嶼山巴士(嶼巴/NLB)</u>、<u>龍運巴士(龍巴/LWB)</u>の5社。</li> <li>1933年創業の九巴は、<u>世界最大の固有バスの公共バス事業者</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金は路線によって違うので、左記名称のハイパーリンクでサイトから確認</li> <li>車内放送と次の停留所情報が文字で表示される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>城巴と新巴は空港線を含む多彩な路線</li> <li>九巴は九龍側から一部新界地区の運行ルートを持つ</li> <li>上記3社のバスはほとんど2階建て</li> <li>嶼巴はランタオ島内、龍運は起点が空港からの発着が多い</li> <li>停留所は、複数のバス会社が重なっているため、会社名、路線番号を必ず確認！</li> </ul>



## バス移動出来れば香港通?! 観光客が利用できそうな路線一覧

城巴/新巴		九巴	
15	セントラルフェリー5番埠頭~ピーク(HK\$11.5)	8	スターフェリー~紅磡駅~九龍駅ターミナル(HK\$5.4)
X15	スターフェリー~ピーク (HK\$14.2)	10	旺角駅~九龍寨城公園(HK\$5.2)
6	エキステンジスクエア~スタンレーマーケット (HK\$8.5)	12	尖沙咀東駅~中港城フェリーターミナル(HK\$5.2)
66X	エキステンジスクエア~スタンレーマーケット (HK\$9.8)	14	中港城フェリーターミナル~鯉魚門ターミナル(HK\$7.2)
22M	リーガルオリエンタルホテル~カイトッククルーズターミナル(HK\$5.6)	路線検索 <a href="https://search.kmb.hk/kmbwebsite/index.aspx?lang=en">https://search.kmb.hk/kmbwebsite/index.aspx?lang=en</a>	
B5	香港ディズニーランド~港珠澳大橋ポート(HK\$5.8)	嶼巴	
※このほか A から始まる City Flyer は空港行		21	昂坪~大澳(HK\$7.2 日曜・休日はHK\$16.1)
路線検索 <a href="https://mobile.bravobus.com.hk/nwp3/?f=1&amp;ds=All&amp;l=1">https://mobile.bravobus.com.hk/nwp3/?f=1&amp;ds=All&amp;l=1</a>		11	大澳~東涌バスターミナル(HK\$12.8 日曜・休日はHK\$21.1)
		路線検索 <a href="http://www.newlantaobus.com/route">http://www.newlantaobus.com/route</a>	

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！

監修:香港政府観光局

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリビア												
<p>ミニバス(小巴/シュウバ)</p> <p>Mini Bus(Green Mini Bus &amp; Public Light Bus)</p>  <p>ミニバスを制すれば、香港を制したも同然！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正式名称は、公共小型巴士</li> <li>・庶民の足とも言えるミニバスは、2種類あって、屋根の色で利用方法が違う</li> <li>・緑色ミニバス(GMBs)の場合、停留所がある路線バス</li> <li>・屋根が赤(PLBs)は停留所はないが、決まっている始点から終点の2区間で自由に乗降する乗合タクシーのようなもの</li> <li>・赤は24時間運行ルートも有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>緑のバス</u> 乗車時に料金を払う オクトパスカード使用可</li> <li>・<u>赤のバス</u> 降車時に料金を払う 一部オクトパス使用可、緑より割高 ※釣銭がないので、ちょうどの小銭を用意しておくこと</li> <li>・車内で停留所名の放送は無い</li> <li>・緑の一部は降車ボタンがあるが、通常は下りたいところで声をかける(例:唔該, 司機冇落!ンゴイ、シーゲイヤオロツ! 運転手さん下ります!)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席は16~19席あり、満席になり次第出発(立ち乗りは禁止)</li> <li>・走行時、満席の時は、停留所を通過することがある一方、赤ミニバスは満席にならないと出発しないことがある</li> <li>・1960年以前からミニバンの「白タク」が新界で横行していたので、1967年に政府が認可制</li> <li>・当初は最大9人乗り、白黒ストライプのボディーだったので「ゼブラカー」と呼ばれていた</li> </ul>												
<p>フェリー(渡海小輪/ドウホイ シウロン)</p> <p>Ferry</p>  <p>時間がある方は、離島でのんびりと！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スターフェリー以外に離島を結ぶもの、郊外住宅地から通勤用に使われているフェリーがある</li> <li>・休日の利用は、離島に出かけてビーチ、海鮮料理、ウォーキングなどが楽しめる</li> </ul>	<p>以下、4社のサイトでチェック</p> <p><u>Sun Ferry(新渡輪)</u></p> <p><u>Hong Kong &amp; Kowloon Ferry</u></p> <p><u>Holdings Ltd.(港丸小輪)</u></p> <p><u>Coral Ferry(珊瑚海)</u></p> <p><u>Chuen Kee(全記)</u></p> <p>翠華(Tsui Wa)</p>	<p><b>観光客が利用出来そうな路線</b></p> <table border="1"> <tr> <td>新渡輪</td> <td>中環~長洲島</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">港九</td> <td>中環~榕樹灣(南丫島)</td> </tr> <tr> <td>中環~索罟湾(南丫島)</td> </tr> <tr> <td>珊瑚海</td> <td>西灣河~三家村(鯉魚門)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全記</td> <td>香港仔~索罟湾(南丫島)</td> </tr> <tr> <td>香港仔~榕樹灣(南丫島)</td> </tr> <tr> <td>翠華</td> <td>※南丫島には、榕樹灣と索罟湾の2つの港があり、索罟湾で下りると海鮮料理レストランが目の前にあります</td> </tr> </table>	新渡輪	中環~長洲島	港九	中環~榕樹灣(南丫島)	中環~索罟湾(南丫島)	珊瑚海	西灣河~三家村(鯉魚門)	全記	香港仔~索罟湾(南丫島)	香港仔~榕樹灣(南丫島)	翠華	※南丫島には、榕樹灣と索罟湾の2つの港があり、索罟湾で下りると海鮮料理レストランが目の前にあります
新渡輪	中環~長洲島														
港九	中環~榕樹灣(南丫島)														
	中環~索罟湾(南丫島)														
珊瑚海	西灣河~三家村(鯉魚門)														
全記	香港仔~索罟湾(南丫島)														
	香港仔~榕樹灣(南丫島)														
翠華	※南丫島には、榕樹灣と索罟湾の2つの港があり、索罟湾で下りると海鮮料理レストランが目の前にあります														

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！

監修:香港政府観光局

## 番外編/観光地

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリビア
<p>ピークトラム(山頂纜車/サンディ ン ラムチェー)Peak Tram</p>  <p>運営会社は、ザ・ペニンシュラ香港 と同じ、香港上海ホテルズ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1888年5月より運行</li> <li>・花園道駅(Lower Terminus)を起点に5駅あり、山頂駅はピークタワーに直結</li> <li>・花園道駅～山頂駅の距離は1.4km</li> <li>・上記タワー内にある「スカイテラス428」展望台利用は別料金</li> <li>・最高速度22kmで乗車は約10分。標高差363mまで上がる</li> <li>・最大斜度は27°</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人往復HK\$52(3-11才、65才以上HK\$22)</li> <li>※片道乗車券も販売あり</li> <li>・山頂駅(ピークタワー)には、レストラン、ショップ、マダムタッソー蠟人形館などがある</li> <li>・山頂駅から徒歩圏にある無料の「獅子亭展望台」、ウォーキングコース途中にある「ルガードロード展望台」、「スカイテラス428」からの眺望は必見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1926年以前は座席の1等から3等に分かれていた</li> <li>・2019年より2022年までアップグレード計画中</li> <li>① 花園道駅は最大1,300名収容でき、屋根付き空調の空間に変更</li> <li>② 車両の収容人数が120名から210名へ増加</li> <li>③ 乗客待ち時間を70%緩和</li> </ul>
<p>ゴンピン360(昂坪360/ンゴン ピンサンロツリン)Ngong Ping 360</p>  <p>ランタオ島内を一望出来て、香港 国際空港も俯瞰的に見られる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2006年に開業</li> <li>・全長5.7kmのロープウェイ(イタリア、ライトナー社製)</li> <li>・運行管理はMTRが行っている</li> <li>・ランタオ島、MTR東涌駅から徒歩数分のところに東涌駅があり、上部の昂坪駅まで、所要時間は25分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人往復HK\$235(3-11才HK\$110、65才以上HK\$115)※片道乗車券も販売あり</li> <li>・2009年登場のクリスタルキャビンは割増料金(床が硬質ガラス)</li> <li>・48cmx34cmx23cm または4kg以上の荷物は持ち込めない(手荷物預け所で1個HK\$100で預けられる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行は午前10時から午後6時(土、日、祝祭日は午前9時から午後6時30分まで)</li> <li>・到着駅の昂坪駅から徒歩圏に観光スポットの昂坪ビレッジ(VR360など映像アトラクション)や寶蓮寺がある</li> <li>・開業前は嶼巴でのアクセス(アクセスが40分も短縮された)</li> </ul>

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！


監修：香港政府観光局

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリビア
<p>広深港高速鉄道(廣深港高速鐵路/グオンサムゴンゴウツォクティッロー) Guangzhou-Shenzhen-Hong Kong High Speed Rail</p>  <p>ビジネスには持ってこい！近隣中国都市にアクセスが良くなりました</p>	<p>・2018年9月に香港深圳間が つながり、中国へのアクセスが 短縮された 旧：紅磡駅→羅湖駅 45分 新：西九龍駅→深圳福田駅 14分 深圳北駅 23分 ・深圳北駅乗換で、桂林、重慶、 西安北、広州駅乗換で、上海、 北京までアクセス可能</p>	<p>・西九龍駅～深圳福田(大人 HK \$ 82～HK \$ 245/クラス による) ・毎月中国元と香港ドルのレート 調整で料金が変わる ・大人料金の定義は 18 才または 身長 150 cm以上。子供料金 適応は上記年齢以下か、 身長が 120 cm～150 cm ・<u>短距離列車時刻表</u> ・<u>長距離列車時刻表</u></p>	<p>・香港・中国出入境審査は香港 側で同時に行われるため香港 を出発する際、45分以上前に 駅での手続きが必要 ・チケット購入はパスポート 提示必要 出発する時間直前 は買えないので、余裕ももって ・持込荷物制限は、20kg ま で、3 辺の合計 130cm 以内 ・座席は、2等・1等・プレミア・ ビジネスクラスの 4 種類</p>
<p>マカオフエリー <u>ターボジェット</u>(噴射飛航/パンセイフェイ イホン)Turbojet <u>コタイジェット</u>(金光飛航/ガムゴンフェイ イホン)Cotai Water Jet</p>  <p>あなたはどちら派？</p>	<p>・ターボジェットは、香港島・マカオ フェリーターミナル、九龍半島・チャ イナフェリーターミナル、新界・屯門 フェリーターミナル、香港国際空港 とマカオフエリーターミナル間を 運航 ・コタイジェットは、香港島・マカオ フェリーターミナル、香港国際空港 とマカオタイパフェリーターミナル を結んでいる</p>	<p>・香港マカオフエリーターミナル から乗船 <u>ターボジェット</u>・エコノミー、 <u>コタイジェット</u>・エコノミーとも HK \$ 160～HK \$ 200 (時間、クラスによって違う)</p>	<p>・正式な名称は「外港客運碼頭 (Outer Harbour Ferry Terminal)」と「氹仔客運碼頭 (Taipa Ferry Terminal)」 ・旧市街へはターボジェット、 コタイ地区へのアクセスは、 コタイジェット利用が便利</p>

2022年7月現在

# 香港乗り物三昧！

監修：香港政府観光局

名称	特徴	料金・ルート	仕様・利用法/トリビア
<p>ミッドレベルズ・エスカレーター(中環至半山自動扶梯/チュンワンジブンサーンジードンフータイ)Mid-Levels Escalator</p>  <p>別名ヒルサイド・エスカレーター (Hillside Escalator) 一般公道利用なので、もちろん料金はかかりません！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1993年10月、セントラルの居住者向けに作られた</li> <li>・高低差135m、全長800mを合計23基のエスカレーター、オートスロープ(全行程は、乗り継ぎが必要)</li> <li>・23基を合わせた長さは世界一といわれ、すべての利用で所要時間約23分</li> <li>・MTR セントラル駅、AEL 香港駅、マカオフェリーターミナル、トラム停留所などから徒歩でアクセス可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行時間は24時間、居住者の通勤に合わせて午前の早い時間は下り、午前10時からは上りに変更</li> <li>下り：午前6時～午前10時</li> <li>上り：午前10時～深夜0時以降</li> <li>※運行時間は状況により変更することがあります</li> <li>・道を元に戻る(逆戻り)する場合は、隣にある階段を利用</li> <li>・SoHo 地区、ハリウッドロードなど観光名所、ショップ、パブや老舗レストランなどがあり、観光客も多く利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗るときは右側に立つ(香港では地下鉄やショッピングモールなど、すべてのエスカレーターは、立つときは右側！)</li> <li>・ベビーカー、車椅子、大きな荷物を持つての利用は禁止</li> <li>・1995年上映の「恋する惑星」など映画にも登場</li> <li>・香港政府運輸署(日本の国土交通省にあたる)が管理しているため、交通機関という位置づけになっている</li> </ul>